

循環型社会の形成と地球温暖化防止をめざし、廃木材を新たなエネルギーへ。 世界で初めての「バイオエタノール製造施設」。

地球にやさしい循環型社会の実現に向けて始動した大阪府エコタウンプラン。
その一つとして誕生した「バイオエタノール製造施設」は、建設廃木材や紙くず、おからなどの
廃棄物を有効活用し、燃料用エタノールを製造する世界で初めてのリサイクル施設です。
地球環境を守り、より豊かな社会をつくるために。
私たちは「バイオエタノール製造施設」から生まれる新しいエネルギーを通して、
化石燃料消費と二酸化炭素の削減に貢献します。

廃木材からエタノールができるまで

バイオマス資源ってなに？

バイオマス資源とは「生物資源」という意味で、動植物などの自然から生まれた再生可能な有機資源のこと。この「バイオエタノール製造施設」で使われている建設廃木材、古紙、おからなどの食品廃棄物もその一つです。最近、バイオマス資源を再利用する研究が各地で進められ、その有効活用が望まれています。

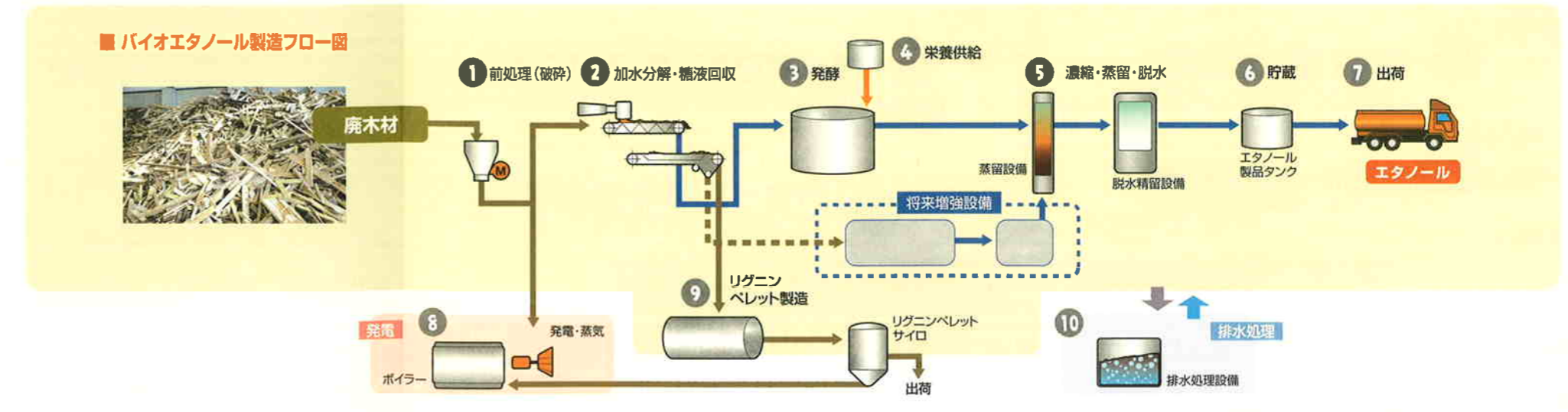
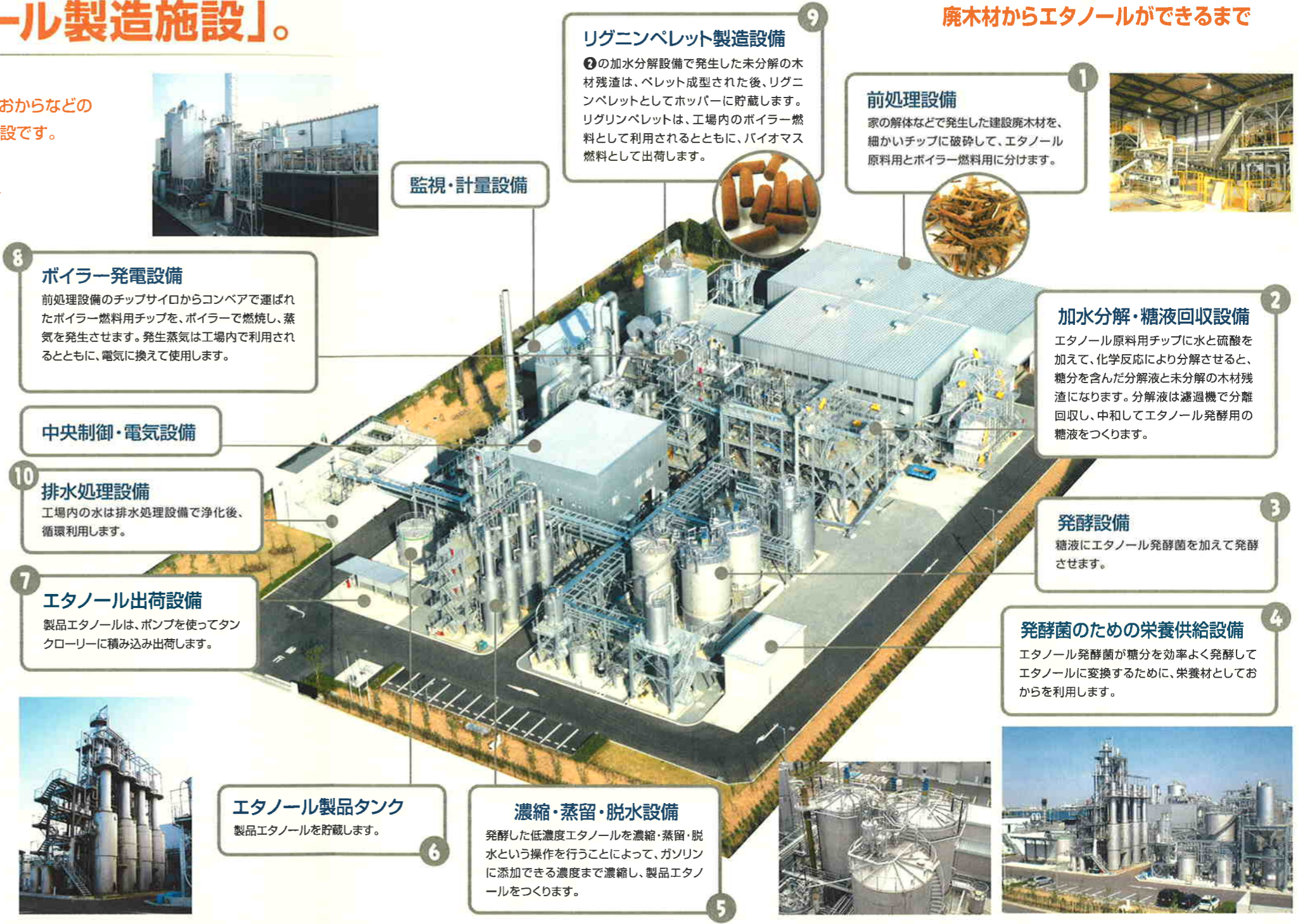
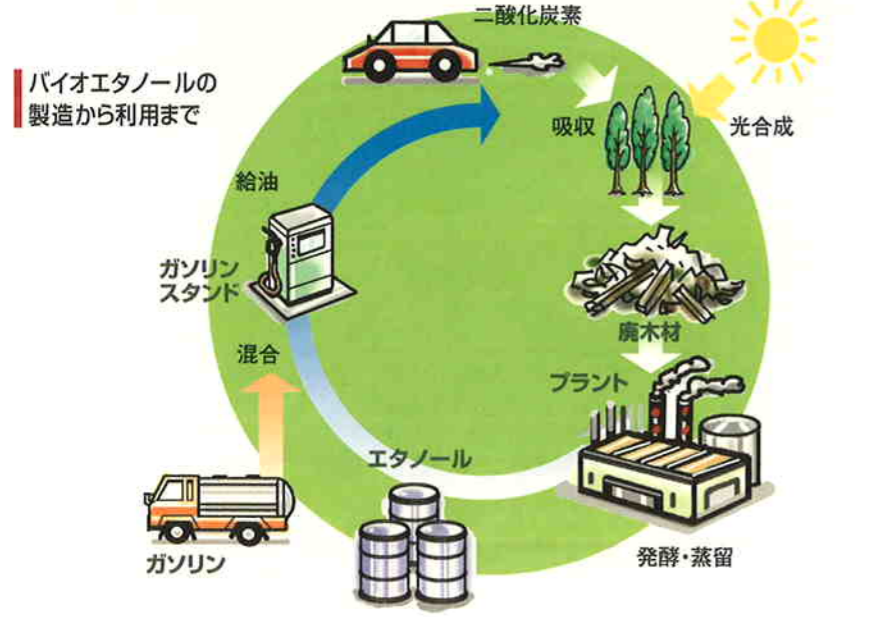
バイオマス廃棄物
(バガス・粉塵/種まき・ウッドチップ等々)

バイオエタノールとは？

バイオエタノールは、サトウキビ、とうもろこし、廃木材などのバイオマス資源を発酵し、蒸留して作られる植物性のエチルアルコールで、新たな燃料用エネルギーとして注目されています。「バイオエタノール製造施設」で作られたエタノールは、自動車やボイラー等の燃料として利用されます。

バイオエタノールを使うとどんなメリットがあるの？

バイオエタノールはガソリンと混ぜて使うのが一般的で、日本では、現在法律で3%まで混合できることになっています。ガソリンに混ぜて使用することにより、二酸化炭素の排出量を削減し、地球温暖化防止に貢献します。また、石油の使用量が減少することでエネルギー資源を確保。さらに、廃棄物の削減にもつながる地球にやさしいエネルギーとして、大きく期待されています。



※ このプラントに用いているエタノール製造技術は、丸紅(株)と月島機械(株)から導入したものです。

Biomass